

ことに依つて自己の帝國主義者心より只管に脱却せんと試みつゝある。かゝる情勢に直面して労働者大衆の痛切なる要望は現実には四分五裂せる全労働組合戦線の統一合同であらねばならぬ。然り、組織の厄化抵抗力は彼等に対して大膽なる闘争を敢行し得るか故である。今日全農民組合合同促進の事実及び全無産政党合同に対する全産産大衆の熾烈なる熱望等、同一解放陣営内に於けるこれ等の諸現象はついで考察する時如何に労働組合の合同が必要であるかを痛感するものである而してその所以は即ち

① 農民組合の合同従つてその勢力の増大はヤリもすれば之を過重評價し止むことは解放戦線に於けるヘゲモニーの労働何れにありやの迷ひを抱かぬ或は亦対等なりとの誤誘を犯さしめる等の故に労働組合合同はプロレタリアヘゲモニー確立のため刻下の急務であり又

② 今日行き悩める全労働政党の合同を促進する一の最大の槓杆であらねばならぬ。我々は大衆以上の如き理由により政治的意見の対立を両れで全労働組合合同のために一團に直進するものである。

一 組合同盟は全労働組合合同協議會を即時提唱すること。

実行方法

ニ 協議会提唱に關する具体的事項は中央委員会に任

附記 然し乍ら我等は之等の以外に地方協議会を設け又情談の共同闘争委員会による共同闘争の展開等による下からの合同運動を忘れこはならぬ。

兵役に依る解雇反對及無産家族に対する國家補償の件

全産産労働組合提唱

理由

我々一被民眾が國家の法律によつて強制的に兵役の義務に服すなければならぬ事は、ふまでもない。

然し我々は之が國家の義務として兵役に服する事は仕方がないが若しその義務を終えて